

全員野球で相手を圧倒

岩日タイムズ

発行者

岩瀬日本大学
高等学校
ソーシャルメディア部

高野晴香

堅実な守備 流れ引き寄せ

岩瀬日大、初の8強へ王手

7月17日、笠間市民球場において、全国高校野球選手権茨城大会の3回戦が行

われた。日中30度を超える炎天下の中、多くの野球部保護者やOBが駆けつけた。

相手チームは初戦でコールド勝ちした長打力のある下館工。初回、二死満塁のピンチを迎えたが、先発の山口投手は、粘りの投球で下館工の強力打線を見事に抑え切った。相手投手の四死球をきつかけに打線は2回表に先制、その後も中押し・ダメ押しと、着実に得点を重ねた。



7回裏の相手チームの猛攻を抑え、笑顔でベンチに戻る選手たち

6点リードで迎えた7回裏、強烈なライナーを、交代したばかりのレフト秋元選手が好守。1点を失ったものの、最終岩日ペースで相手チームに流れを渡すことはなかった。山口投手の後を継ぎ、4回の二死一、三塁のピンチを抑えた大山投手が投打にわたり活躍、最後は舟橋投手が締めた。



1回の二死満塁を無失点で抑えた山口投手



海老澤選手がチャンスを広げる



(高野)

私は初めて高校野球を生で見た。気温、スタンドの応援、そして選手たちの「絶対勝つぞ」という気迫、これら全てが合わさって球場が熱気に包まれていた。得点が入った時はもちろん、守備の際でも、見事な連携で相手の攻撃をアウトにした時、鳥肌が立った。野球に詳しくない私でもその盛り上がりを感じる事ができてとても感動した。今大会が最後となる3年生にとって、青春が詰まった最高の時間になったに違いない。野球部の今後の活躍がさらに楽しみにいった。

編集後記